■（１０６）４８０人の「万歳」に備える

１５００人超が立候補した衆院総選挙が投票日を迎える。開票が進むと、当選を確実にした候補はたいてい支持者と万歳をする。カメラのストロボが光り、テレビが中継する。

開票の夜、全候補者の事務所に記者が張り付くのは現実的には難しい。だから、事前取材で当選や落選がニュースになりそうな陣営を探しておく。世論調査方式の情勢調査に加え、投票所で投票を終えた多くの有権者にどういう基準で選んだかを尋ねる「出口調査」の結果も参考にする。

取材先を選んだら、次に大切なのは、当選や落選が決まった時にその候補者がどのような段取りで、どのように喜びや落胆を表現するか確かめておくことだ。せっかく万歳をしたのに、カメラから遠い場所だといい写真が撮れない。水をかぶるなどのパフォーマンスを候補者が考えていても、突然の動きだとシャッターチャンスを逃すかも。落選した候補者の場合、事務所奥で支持者に謝罪したまま、記者の前に姿を見せず、取材できないこともある。

苦い思い出をひとつ。万歳の瞬間を撮影したつもりが、写真を確認すると、手が下に降り、まばたきで目を閉じている当選者。やり直してく下さいとは言えず、デスクに……。

（山）